

# 協働



## 「ふれあい月間」といじめ防止の取組

校長 西村 元一

「いじめ」についての法令上の定義は、次のようになっています。「児童等に対して、(中略)一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的または物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含む。)であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているもの。」(「いじめ防止対策推進法第2条」)

以前のいじめの定義にあった、「自分より弱い者に対して」「一方的に」「攻撃」を意図して、「継続的に」「深刻な苦痛」を与える行為、などの言葉が削除されていき、より軽微なものまでをいじめと認知するように変化してきました。

さて、6月は、「ふれあい月間」でした。その目的は、いじめ、自殺、暴力行為等の問題行動、不登校等の早期発見・早期対応、それらの未然防止等につながる具体的な取組を実施したり、現状を把握したりすることです。

本校のいじめ等に関する取組を紹介します。毎日の朝の職員打ち合わせ前に、管理職と各学年主任による経営会議を行い、早期の情報共有と対応を心掛けています。月1回「学校いじめ対策委員会」を実施し、「いじめ」やそれへの発展が危惧される案件に対して、取組内容を検討したり進捗状況を共有する場として、組織的対応がとれるようにしています。また、6・11・2月の「ふれあい月間」を活用して、生徒のいじめ防止意識を高める指導や実際にいじめの被害者がいないかについてのアンケート調査を行い、定義に従って認知し、即時対応を心掛けています。また、いじめ防止等の対応力向上を目指した教員研修を年3回行うとともに、先日実施したセーフティー教室や各学期最低1回のいじめを題材とした道徳授業の実施、夏休み前のSOSの出し方指導などを行っています。

いじめに特化した取組とは別に、「学校だより第1号」でお示しした教育構想にある「主体性の基盤となる自己管理能力」の育成では、他者からの刺激に対して適切に対処し、怒りや不安を生まないようなメンタルマネジメントのスキルの育成も目指します。「協働を支える人間関係形成能力・豊かな心」の育成では、他者の気持ちに配慮しながら自分の考えを上手に伝える(アサーティブコミュニケーション)スキルの育成も目指します。

夏休み明けは、子供の自殺数がピークになる時期です。御家庭でも、お子様の様子を注意深く見ていただき、気になる変化にお気づきの場合は、御連絡をお願いします。

## 6・7月の奥多摩中学校

### 6月23日(木) マインドマップ講習会(1年)

長い文章を読んで、その内容をマインドマップに表現していく方法を教わりました。その後、マインドマップを見ながら文章の説明をしました。文章をただ読むだけではなく、マインドマップを活用しながら理解していく方法は、今後多くの場面での活用が期待されます。



### 6月24日(木) 高校の先生の話聞く会(3年)

都立瑞穂農芸高等学校、都立青梅総合高等学校、拓殖大学第一高等学校の3校の先生をお招きして、都立高校と私立高校の違いや各校の特色、入試制度などを説明していただきました。当日は、コロナウイルス感染症対策として、3年生の生徒のみの参加となりました。当日の様子は、動画で視聴することができます。生徒のiPadからご視聴いただけますので、興味のある方はご覧ください。

ドライブ : 01資料室 > 2020年度入学 > 進路 > 高校の先生の話聞く会

### 7月12日(火) 職場体験報告会(2年)

6月7日(火)から9日(木)の3日間で実施した職場体験学習の報告会を行いました。生徒はkeynoteアプリを用いて、スライドショーを作成し、発表に臨みました。「働く意義」とは何か、それぞれの考えをしっかりと話すことができました。発表後には質問が多数飛び交い、3か月間の学びの集大成となりました。お世話になった事業所の方にもお越しいただき、充実した会になりました。



## SNSに関連した道徳の授業を全学年で実施しました

夏季休業を前に、普段のSNSの使い方を振り返るための道徳の授業を全学年で行いました。ある中学校の生徒会が行ったLINEでの会話(台本なし)のシミュレーションをもとに、SNSを使用する際の注意点を考えました。SNSでは、文字によるやり取りが多く、書かれた言葉から相手の気持ちを正確に理解することは難しいです。同時に、自分の気持ちを相手に正確に伝えることも難しいといえます。そのため、何気ない言葉によって相手を傷つけたり、自分が傷ついたりすることがあるかもしれません。授業のまとめとして、「書くとき」「読むとき」「複数人でやり取りするとき」の3つの視点で、心がけたいことを考えました。

夏季休業中も、今回の授業で学んだことを忘れずに、SNSにおいても、相手も自分も大切にコミュニケーションを心がけてほしいと思います。保護者の方もぜひNHK for Schoolの教材(前後編)をご覧ください、ご家庭で話題にしてください。

NHK for School いじめをノックアウト いじめるつもりはなかったけど…

検索

### <各学年での意見等>

書くとき : 送る前に文を読み返して誤解を生まないように気をつける。(1年)

: 受け取り側がどう読み取るのか考えてから送る。(2年)

: 書いた文が誤解を生まないか考えてから送る。(3年)

読むとき : 相手が何を考えているのかを考え、すぐに返信しない。(1年)

: 最初読んだときの解釈にとらわれず、別の解釈の仕方がないか探る。(2年)

: 相手の意図を理解できるように考え、すぐに返信しない。(3年)

複数人でやり取りするとき

: 言っていることと悪いことの区別をし、よくない発言は止める。(1年)

: 悪口などには便乗せず、よくないやりとりがある場合には止める。(2年)

: 自分には責任がないと言い訳せず、悪口などに便乗しない。(3年)

# 部活動の様子

## スポーツ部

現在は、バドミントンに取り組んでいます。自分たちでルールを理解しながら、意欲的に対戦しています。ダブルスの試合を多く設定することで、ペアで作戦・調整などコミュニケーションを図りながら、日々上達しています。今後、様々なスポーツに挑戦していきます。生徒たちが主体的に考えながら、軽スポーツ的なものも数多く取り入れていく予定です。

## カルチャー部



2つのグループに分かれて、オリジナルの黒板アートを作製しています。それぞれデザインを考え、自分たちの描きたいものをどのように表現するか、試行錯誤しています。「やっぱりこうじゃないな。」「実物はこんなかんじだね。」と話しながら書いている姿に、「素敵な作品を作りたい!」という心意気を感じます。完成まであと少し。楽しみにしててください。



## アウトドア部

アウトドア部では、夏季休業中に校庭でのデイキャンプを計画しています。そのため、ガスバーナーを使っての炊飯、道具のメンテナンスを行いました。デイキャンプは新型コロナウイルス感染防止の観点から、一人一人が自分の食べ物を調理するという、ソロキャンプ形式で行います。

## ボランティア部

ウクライナ支援緊急募金へのご協力ありがとうございました。

6/29(水)から7/1(金)の3日間、校内でウクライナ支援のための募金活動を行いました。困っているウクライナの方々のために、少しでも役に立ちたいという思いから、部員たちは毎朝、昇降口に立ち募金のお願いをしました。結果、合計で61,082円という多くの寄付をいただきました。部員たちは金額にビックリしたのと同時に、「やった!」と満足そうな表情でした。快く寄付してくださった方々、本当にありがとうございました。この寄付金は、今後ユニセフに寄付し、ウクライナの人々の支援のために使われます。



## 中体連の結果

<剣道> 第8ブロック夏季剣道選手権大会

<2回戦>

<1回戦>

<1回戦>

## 【地域部活動について】

町教育委員会と協議を重ねてきた結果、次の内容の通知文が届きました。今後、奥多摩中学校の地域部活動は、この決定に則って実施することになります。

その要旨は次のとおりです。

- 1 地域部活動希望について  
部活動については学校の管理下で行うこと。指導者については教員以外のものを任用する。(教員が自ら指導を望む場合は除く。)
- 2 活動範囲  
活動日：平日週2日から3日(18時まで)、休日1日(3時間以内)  
活動場所：奥多摩中学校内
- 3 新たな部活動の考え  
年度当初に新たな部活動の希望があった場合、教育委員会と協議すること。

今年度の地域部活動は、バドミントン部の創設に向けて準備が進んでいるそうです。